京都労山

2026年9月号

No. 399

発行日
2026年8月17日

発行所:京都府勤労者山岳連盟 発行者:中村好夫 編集製作:機関誌委員会 発行:毎月第3月曜日

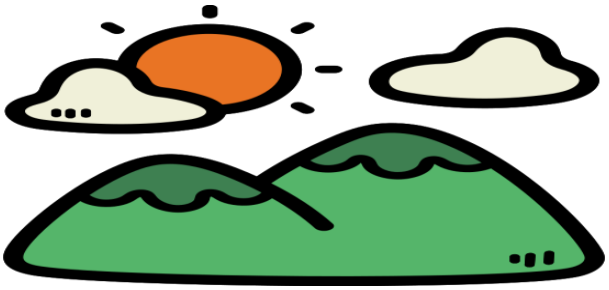
所在地:〒.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793
【ホームページアドレス】 http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

（一） 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
（二） 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
（三） 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
（四） 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
（五） 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
（六） 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。



９月号目次

＊ 六つの合い言葉・目次
＊ ステップアップ　組織拡大委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・０１
＊ 事務局長会議報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０２
＊ 北陸新幹線延伸計画をめぐる状況・・・・・・・・・・・・・・・・・０３
＊ ヒヤリハットとりまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０５
＊ 2026 年 クリーンハイクとりまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・０７
＊ クライミング委員会山行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０８
＊ 60 周年記念実行委員会からのお知らせ第 5 号・・・・・・・・・・・１１
＊ 60 周年記念実行委員会第 20 回の記録・・・・・・・・・・・・・・・１２
＊ 大文字山登山道整備の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
＊ 大文字山登山道整備の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
＊ 連載企画・二百名山登頂シリーズ第 67 回「榛名山」・・・・・・・・１６
＊ 9 月号の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
＊ 連盟月間予定表「カレンダー」・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

連盟創立６０周年を迎えて

京都府勤労者山岳連盟は単一の山岳会から出発し、運動の広がりの中で多くの山の会が結集する連盟組織へと引き継がれ、結成60周年を迎えることになりました。

その後、今日まで着実に発展を続け、60年の節目を迎えられたことは、長きにわたり運動に携わってきた歴代の先輩諸氏にとって喜びは計り知れなく、その下で登山活動、労山運動を展開する各会の会員においても大きな誇りとなるものです。

改めてその歩みを振り帰ってみたいと思います。日本勤労者山岳会（労山）の誕生は1960年に遡ります。日本経済が上昇基調に向かい、多くの勤労者の中に余暇の一環としてスポーツ要求が高まりました。とりわけ、登山は勤労者にとって身近で、最も取り付きやすいスポーツとしてまたたく間に全国に広がり、登山愛好者の増加、組織化につながりました。

京都でもその流れを受け、その翌年6月に単体の京都勤労者山岳会が誕生し、やがては各会が結集する連盟組織となりました。しかし組織としての形はあるものの、当初は明確な運動指針もなく、組織の進め方も手探りの状態が続きました。本格的な技術の習得･向上を中心に据えるのか、大衆的な登山活動の普及を基本に置くのかで議論が割れ、組織活動上の困難もありました。議論と実践を重ねる中で「六つの合言葉」が生まれ、“普及を土台にして向上を図る”という基本方針が確立されました。
幾多の紆余曲折もありましたが、理論的、実践的に克服する中で運動指針、運動理念が形づくられ体系化されてきました。連盟傘下の各山岳会も、労山として共通の運動方向を持った単位組織として府連盟を支え、組織拡大や技術教育のレベルアップ等、相互に高め合いながら今日の到達点を迎えたのです。

京都における労山運動の基幹となる府連盟は、高い組織力、教育力を発揮し次々と労山の担い手を輩出しています。まさに60年のキャリアを標榜するにふさわしい組織といえます。これまで培ってきた運動理念と高い技術力を生かし、存在感を発揮できる府連盟でありたいと思います。

「数は力」です。現状に安住することなく、50周年の運動を確信に、この機に各会も将来的なビジョンを掲げ、足並みを揃えた運動を展開してほしいと願っています。

大江　六夫・記

事務局長会議報告　（各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催）

８月４日：**やましな,乙訓,右京,西山,伏見,洛中,明峯,左京,山城９労山,連盟から２人**

(報告のみ)

各会の活動状況（前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・**[右京]＜例会＞**7/9 愛宕山(歩荷)トレ 12 人,7/18～20　60 記念夏山バス山行八ヶ岳３コース有八ヶ岳・赤岳・硫黄岳 21 人**＜予定＞**8/2 清滝川→保津峡,30 竜王山

・**[やましな]＜例会＞**７/23～25 立山 11 人**＜予定＞**8/15 赤目４８滝,22 ビアパーティ,30 早朝大文字山**＜その他＞**クリーンハイクを 9/26,27 バスハイク時に実施

・**[西山]＜例会＞**７/12 大文字山縦走 21 人,18～19 初級セミナー終了山行乗鞍岳２１人**＜予定＞**8/16 大文字火床,８/23～26 富士山,8/30～９/１甲斐駒・仙丈ケ岳

・**[乙訓]＜例会＞**7/10～12 鳳凰三山縦走 10 人,26～28 夏山集中立山三山・剣岳・大日岳天候悪く中止**＜予定＞**8/1 六甲風吹岩ナイト,29～31 中央アルプス檜尾尾根

・**[洛中]＜例会＞**７/18～20 夏山集中(薬師岳・雲ノ平)39 人,**＜予定＞**８/２白滝谷沢登り,28 リトル比良**＜その他＞**４月以降新入会員 18 名,退会者 10 名、会員 91 人

・**[伏見]　＜例会＞**７/12 武奈ヶ岳８人,26～28 蝶ケ岳７人**＜予定＞**8/19 愛宕山,8/30～９/2 蓮華温泉→白馬テン泊**＜その他＞**11 月 15 日公開ハイク「読図山行」

・**[明峯]＜例会＞**7/25 坊村→武奈ヶ岳３人**＜予定＞**８/１北山を歩こう「妙」「法」**＜その他＞**８月つどい「基本装備」,愛宕山でヒヤリ２件暑さバテと転倒

・**[左京]＜例会＞**７/25 大文字山３人**＜予定＞**8/22 ヤケ山,29 八淵の滝ソーメン。

・**[山城]＜例会＞**７/12～14 尾瀬９人（燧ヶ岳は雨で中止）,25 高取城ヤマユリ４人

連盟の取り組み、活動報告　（連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告）

① 60 周年実行委員会 11 月 14 日(土)記念講演会･集会参加者を各会実行委員が集計。参加者９月実行委員会で中間報告し,10 月を最終集計とする。事前チケット配付制

② 60 周年記念誌の各会活動報告　９月１８日(金)締め切り

③ 次回の事務局長会議は拡大会議とする。各会の代表クラスと事務局長の参加を要請
全国の連盟費引き下げに対し、①各会からの会費引下げを行う②京都連盟にて資金を有効活用し前を向いた活動費に充当する　各会のご意見をお聞かせください。

９月事務局長会議は、９月１日(火)拡大会議とします。事務所・ＷＥＢの併用形式。

自然保護委員会コーナー

「北陸新幹線延伸計画」をめぐる状況（続報）

北陸新幹線延伸計画が、この間大きく動きました。

○2025/12　国交省は、2026 年度予算に北陸新幹線延伸関係予算計上を断念
与党プロジェクトチーム（自・維）が初会合（12/15）
維新提案の 8 ルートの費用検証を始める
○2026/2　総選挙後、与党 PT が、7 月の国会会期内に 8 ルートを一つに絞ると発表　自治体首長等のヒアリングを始める
○2026/6　京都府知事・市長ヒアリング（6/30）

与党整備委員会が「小浜・京都ルート」桂川案を選定（7/15）

○工期 26 年間、建設費 5 兆 5 千億円（JR の貸付料を除く建設費用の 1/3 を沿線自治体が負担）
○地下水への影響、ヒ素を含む大量の残土の処分方法など環境への影響・懸念についてはなんら示されず。
○8 ルートの延伸案の試算、B／C（費用便益費）は小浜・京都ルートは 0.5、米原ルート 1.0。便益をこれまでにない新基準（新幹線全体東京～大阪）で試算し 7 ルートは 1.0、小浜・京都ルートは 1.1 としている。積算資料、根拠を一切明らかにせず、数字合わせと思われても仕方がない

今後の見通し　まだ、着工が決まった訳ではない！

止まっていた環境アセスが再始動するところ。着工 5 条件をクリアしてはじめて国が認可し建設費がつく。

※着工 5 条件とは
①安定的な財源確保
②収支採算性　事業主体の収支改善効果（30 年間）がプラスであること
③投資効果　B/C（費用便益費）が 1 以上であること
④事業主体 JR の同意
⑤沿線自治体の合意

今後の流れ
○与党 PT の親委員会で決定後、アセスが方法書段階から準備書に進む
　準備書発表は 8 月か？
○準備書発表後の流れ
　各地で説明会が開催され、自治体、市民、国交省などが意見を出す。
　評価書の作成

府市民のとりくみが、与党 PT を追い詰めてきた。

○市民の会など府内 18 団体（京都労山含）が呼びかけ市内デモ（7/9）
　「京都を壊すな、北陸新幹線延伸止めよう」260 名でアピール
○京都仏教会の請願書提出（7/6）　「千年の愚行」
　京都市議会に 6 万 2 千筆超（25/11 に約 5 万筆提出済）
　京都市議会で請願が全会一致で採択された（7/21）
　「京都市が主体となり独自の水量・水質等の影響調査や、将来の財政負担を検証し、それが果たされるまでは事業推進を認めないこと」
○京都市長の言明（7/17）
　「昨夏の参院選前の状況に戻った」「来年着工といわれるとちょっと驚く」「我々は場合によっては専門家の意見も聞きながら、判断を積み重ねる。ここからある意味非常に長い道のりになる」
○地域の会運動交流会（7/18）　今後のたたかいを交流
　準備書に対する取り組みの準備
　・説明会の学区単位等での開催を求める、各個人が意見書を提出する
　・京都府知事、京都市長への意見表明に向けたとりくみ
　・世論を広げる、署名、宣伝、ネット発信の強化等

これからのとりくみが重要

桂川ルートの先、久御山町の巨椋池干拓地跡に巨大な車両基地（約 30 万㎡、幅 200ｍなら長さ 1.5ｋｍで高さ 5～9m嵩上げされる）の建設も計画されています。巨椋池干拓地は京都府でも貴重な野鳥の宝庫です。府内最大級の野鳥生育地（府全体約 380 種のうち約 180 種確認）、絶滅危惧種 18 種（府は 49 種指定）が生息しており、京都府の「京都の自然 200 選」に選定されている。

○京都労山「見直し」要望署名は、8 月 3 日機構への緊急申入れに同行し、4 回目の提出（80 筆）をしました。　累計 10,228 筆
○準備書がでたら、説明会への参加や意見書の集中などを提起させてもらいますので、ご協力よろしくお願いします。

ヒヤリハット・事故報告まとめ

京都労山遭難対策部

２０２６年　5月１７日　　７７歳　　女性

シデ山

事　象　スリップ転倒　　尻餅

休憩場所の大栗峠からの下山道で滑り尻もちをついた。直ぐに立ち上がり、怪我や痛みもないので変わりなく歩いた。

教　訓　下山時は、より注意深く歩く。

２０２６年　4月１９日　　７６歳　　女性

京北トレイル　　黒尾山　５０９m

事　象　スリップ転倒　　おでこ負傷

熊田川の土手の草道で小石のかたまりに躓き転倒。左おでこを打ち擦り傷ができたので洗浄、絆創膏、冷えピタ、三角巾で手当て。夜中に右肩が痛くなる。20 日に右手が上らない。21 日に鍼灸院で診てもらうと首がずれて手が上がらないのかもしれないと。その後手も上がり異常はなかったが、仲間の勧めで清水外科で頭の MRI 検査をした。打った所の異常はなかった。

教　訓　ストックを両手にもっていて、こけた時に手が使えなかった。草道で衝撃はあまりないと思うが、やはりどの道でも気を付けて歩かないといけないと思う。

２０２６年　5月２４日　　６８歳　　女性

那岐山

事　象　スリップ転倒　　尻餅をつく・足首をひねる

滝山から那岐山の分岐まで戻る手前の登りに差し掛かり、その分岐を見上げて足元から目を離したときに、道幅が 1m 程の少しざれた端っこで右足を滑らせて足首をぐねり 120 度程しか曲げられない足の上に、思いっきり尻餅をつきました。雷のような痛みが走り、数分は立つことさえ出来ない状態でした。

教　訓　普段から気を付けているガレ場、ザレ場、木の根っこ、岩場などは良いが、歩きながら景色や行く先を見るときなど、何気ない道でも意外と落とし穴が潜んでいることを頭においてー旦は止まること、そして、進むときは足元を確認する注意が必要だと改めて思いました。

２０２６年　7月１９日　　７２歳　　女性

愛宕山（表参道）

事　象　転倒　　手が付けず、額・顎を打つ

つつじ尾根を登り神社から表参道を下山中、それぞれのスピードで歩いている中、3合目上の急な階段の下りで躓き、転倒する。手が出せず、額と顎を打ち、手当てをしてもらい無事に下山する。

教　訓　早く下山しようとして幅の狭い階段で、石がゴロゴロとしている階段を、慌てて降りたため石に躓いたことが原因。安全な速度で歩くことをいつも心掛けることが必要である。

２０２６年　7月１９日　　７８歳　　男性

愛宕山（つつじ尾根）

事　象　その他　軽い熱中症

登山口からやや遅れ気味であったが、荒神峠からかなり遅れだす。急登を越えたあたりで、無理だと判断し休憩し、荷物を参加者で分けて空身で歩く。

表参道との合流点で下山を決めリーダーと共に下山する。

教　訓　日頃から登山をほとんどしていなく例会への参加が年間2，3回であるのに、体力以上の例会に参加したこと。普段からの体力つくりを心掛け例会に参加する姿勢が必要。

※　今、とりまとめには間に合いませんでしたが、７月遭難対策部会議にてもう一件の熱中症事案が報告されました。詳細は次月報告しますが、パーティ内の熱中症発症者以外のメンバーが、転倒しています。熱中症事案が発生すれば、他のメンバーも同程度のダメージを受けていることを想定する必要が有ると考えます。まだまだ猛暑の中の登山活動となります。無理せず、気をつけて登りましょう。

2026年クリーンハイク　報告一覧　　京都府勤労者山岳連盟

NO;		山域山名	実施日	コース	実施・中止	参加者数	ミ重量kg（可燃ゴミ、不燃ゴミ	登山道の状況、特記事項
1	右京労山	北山	6月7日	槇ノ尾～沢の池～京見峠～鷹峯	実施	17人 会員外9人	可燃物：6kg　不燃物：1.75kg	沢の池周辺は不法投棄あり （車道沿いにバイク・テレビとう）
2	洛中労山	大文字山	6月7日	①山科駅～鏡山～神山～大日山～大文字山～銀閣寺道	中止			
				②蹴上～七福思案処～大日山～大文字山～銀閣寺道				
3	乙訓山の会	愛宕山	6月7日	清滝バス停～金鈴橋～堂尻川から清滝川に沿って～東海自然歩道を高雄へ	中止			
4	左京労山	大文字山	6月7日	楼門の滝～四辻～三角点～四辻～京都トレイル41～山科毘沙門堂	実施	7人	可燃物：1.2kg　不燃物：0kg	時に記載なし
5	WAO亀岡	行者山	6月7日	JR千代川駅～山頂～JR並河駅	中止			
6	明峯労山	東山　大文字山	6月7日	哲学の道～霊鑑寺取付～善気山～大文字山～銀閣寺	中止			
7	京都田辺山友会	甘南備山	5月24日	薪小学校下～山頂～芝生広場	実施	35人	可燃物：80kg　不燃物：20kg	登山道口に向かう途中で壊れた工事用三角コーン回収
				竜王活動センター～山頂～芝生広場	実施	会員外2人		甘南備山登山道の一部で不法投棄されたゴミあり地面からプラスチック容器や鉄筋だ出ていて危険な状態であった。 登山道に倒れた竹があり通行の妨げとなていたためノコギリで切断除去した
8	丹波労山	親不知	6月7日	市寺（林道入口）⇔親不知（ピストン）	実施	3人	可燃物：0　不燃物：0kg	2月の大雪で３か所の倒木あり
9	やましな山の会	音羽山醍醐山	6月7日	①橘大学～桜の馬場	中止			
				②醍醐～桜の馬場				
				③大谷駅～桜の馬場				
				④車で桜ノ馬場				
10	西山HC	光明寺池周辺	6月7日	①光明寺～儀仗池～放丈池	中止			
		光明寺裏山	6月7日	②光明寺～遊友の丘～子守勝手神社				
		天王山	6月7日	③小倉神社～天王山～桜の広場				
		サントリー山	6月7日	④椎尾神社～サントリー山～天王山～桜の広場				
		十方山	6月7日	⑤水無瀬の滝～十方山～小倉神社				
		浄土谷	6月7日	⑥小倉神社～浄土谷～乗願寺～小倉神社				
11	山城山の会	宇治・朝日山	5月31日	京阪宇治駅～朝日山～森林公園林道～天ヶ瀬ダム～京阪宇治駅	実施	3人	可燃物：6kg　不燃物：3kg	報告なし
12	福知山山の会	大江山	6月14日	大江山（千丈ヶ嶽）	実施	13人	可燃物：0　不燃物：14.8kg	回収物はガラスが主。鹿などの食害で笹などがなくなり地面に埋まってたガラスが出てきた。
13	舞鶴山遊会	青葉山	6月2日	松尾寺コース	実施	21人（会以外1人）	報告なし	不法投棄等なし
14	らくなん山の会	田辺	6月7日	JR山城多賀駅－大焼山-万灯呂山-JR山城多賀駅	中止			
15	丹後山の会	磯砂山	6月13日	大成登山口～頂上	実施	15人	可燃物：0.2kg不燃物：19.8kg	登山道の倒木は除去されていた
16	伏見山の会	八幡・男山	6月7日	男山こもれびルート、整備、補修など	実施	12人	可燃物：　不燃物：	登山道の倒木は除去されていた
17	樹の根17組	芝山	6月7日	五塚原古墳～竹の路～小畑川ハイク～竹の径～阪急洛西口駅、又はJR桂川駅	実施	5人	可燃物：少々　不燃物：なし	特になし
	実施した会	１１会				１４３人	可燃物：93.4kg 不燃物：59.3kg	

クライミング委員会山行 報告

沢登り ≪日野谷堂ヶ谷～白倉岳≫

日:6月14日(日) 曇り
メンバー:、内野(洛中)、飯田(会員外)、青山(やましな)

スタートが遅くなってしまったが今年の初沢へ。坊村に着くとあちこちで沢支度をする人が(沢登りブーム？)、順番待ち確定の明王谷支流にしなくてよかったと思っていると、旧友の顔が！ ダベってから出発。



もしかしてこっちの沢も、と嫌な心配をしたけど流石にマイナー沢、誰もいなかった…。沢は、入渓から2／3はダラッと沢歩き、後半の滝ゾーンはイヤらしい系、そりゃぁみんなそっちに行くよね、と…。

下山は白倉岳からバリ尾根下降、明瞭な尾根だから踏み跡程度は、との予想は見事に外れて出だしから迷走。3回目のピークを踏んだ後、しゃくなげの激藪ゾーンを抜けたら後は物足りないくらい快適に下山できた。

沢登り ≪蛇谷～竜ヶ岳≫

日:7月11日(土) 晴れ
メンバー:青山(やましな)、内野(洛中)、岩根(左京)、飯田(会員外)、小泉(田辺)

7 時 56 分、駐車場をスタート。10 分程度で沢に入る。過去 2 回の沢登りでは時間がかかり過ぎて頂上を途中で断念したので、今回は「絶対に頂上の竜ヶ岳まで登る」と意気込んでスタートした。



とはいえ、一番足を引っ張っているのは相変わらず自分で、皆さんに待ってもらっている状況。岩稜歩きの要領で行けと言われても、「滑ったら」と思うと、どうしても一歩一歩が慎重になってしまう。無駄な力も入るので、その分余計に疲れる。今回の滝は 20 数か所。巻い

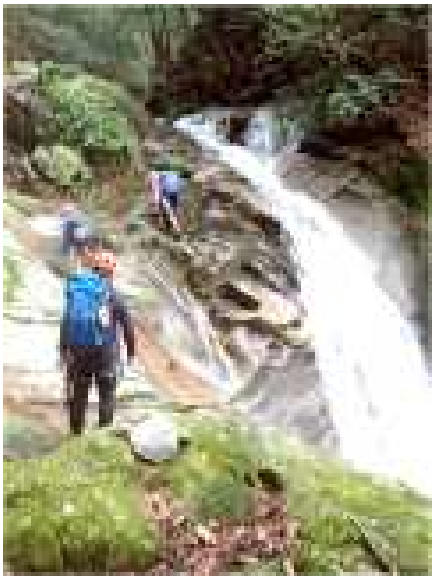
たのは 1 回、ロープの補助は 2 回だった。14 時 20 分に沢終了。時間はかかったものの、なかなか楽しいコースだった。

しかし、しんどかったのは沢が終わってからだった。登山道へ向かうのに道なき道を登り、ほぼ直登。ようやく登山道に合流した時にはあまりにも疲れていて、「ここで待っているので、皆さん頂上まで行って下山してきて下さい」と言いたいくらいだった。それでも、ここまで来たからにはと何とか頑張り、14 時 40 分、ついに竜ヶ岳山頂に到着。

そこで同行した I さんから、信じられない一言が。「時計狂ってしまって、15 時近くになってる。今 12 時くらいやなあ」と。時計が狂っているのではなく、どうも私のペースが遅すぎたようだ(笑) そうか、うまい方なら 5 時間程度で登るのか……と、改めて自分の遅さを痛感する。

山頂で休憩した後、下山開始。駐車場に到着したのは 17 時 10 分。
行動時間 9 時間 32 分、距離 9.9km でした。





沢登り ≪瀬場谷～東・西赤石山 etc.≫

日:7月18日(土)～20日(月) 晴れ
メンバー:内野(洛中)、岩根(左京)、青山(やましな)

四国沢遠征へ。一日目は“瀬場谷”、入渓直後から良い渓相でシャワクラ、小巻、ヘツリと楽しめる。まぁ、3日分装備なので泳ぎと激シャワは無しで…。地図に名前の載っている大滝は判断ミスで大高巻き、沢に戻ってからもダラダラ系はほぼなく程よい滝の連続、ただ噂通りフリクションゼロのヌメヌメ系で気を遣う。

登山道が横切るところで休憩、少し疲れの見えるメンバーと今後の計画相談。

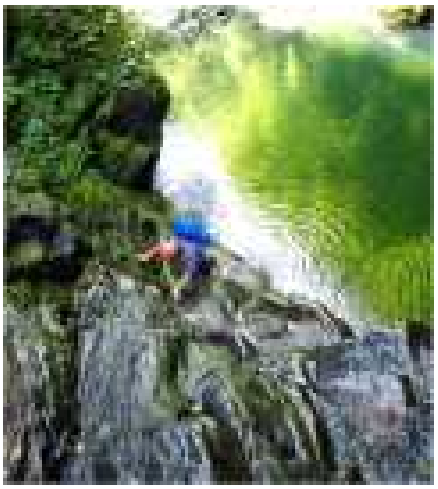
とりあえずは遡行を続けることに、滝と苔の良い渓相は続き二つ目の登山道との交差地点。諸事情で始めから登山道遡行になったメンバーの手を借りて、一日目最後のピッチ。キレイなナメが出てきたり、まだまだ滝が出てきたりと、飽きることがない。

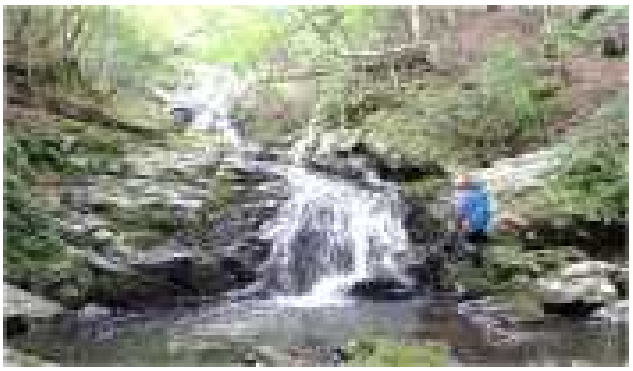
計画では稜線を越えて“鏡沢”に入る予定だったけど、エスケープも大変で降ったら登り返さないといけない行程は少しキツイと判断、継続遡行は諦めてこの1本を最後まで楽しむことに。

２日目。瀬場谷源流を稜線まで詰め上がる、流石に迫力はないけど滝と苔の良い雰囲気は最後まで残って、気持ちのイイまま石室越着。

ココからは「クライミング委員会山行とは何ですか？」コース…(苦笑)、重い荷物はデポして東赤石山を周回、岩稜稜線歩きを楽しんでから前赤石山～物住頭～西赤石山～銅山越。銅山峰ヒュッテ前で泊。遠く京都からココまで来たからと、３日目は別子銅山跡ハイクを楽しみながらゆっくり日浦へ下山。楽しむならその全てを、と言うことで車を東平に回して、“沢登り”“縦走”“史跡巡り”の欲張り3点盛り山行を終えた。









京都労山 60 周年記念行事

≪記念講演会＆交流分科会≫

開催日：11 月 14 日(土)　場所：京都教育文化センター

※会場の駐車場は使用できません。なるべく公共の交通機関でお越しください。
　車の場合は、最寄りのコインパーキングなどを使用してください。

午前／交流分科会　9:15 開場(受付)～9:30 開催～12:00 ごろ

①各山岳会の活動報告会(101 号室)

②連盟活動報告会(301 号室)

午後／記念講演会　13:00 開場(受付)～13:20 開演～17:00 ごろ

①《いつまでも元気に楽しく登山を続ける為の秘策》講師:安藤真由子さん

②《労山とともに》 講師：飯田昌和さん

～分科会、講演会の詳細は 7・8 月号に掲載しています。ご確認ください。～

◎昼食会場として、101 号室・301 号室を開放しますのでご使用ください。
　使用後は、掃除・片付けにご協力お願い致します。
　昼食はご持参ください。教文センター近くに飲食店は多数あります。
　※ 講演会場(ホール)内は、飲食不可です。

＝備考＝

　記念講演会は、受付時の混雑をさけるためチケット配布制にします。各会へチケットの原紙をＰＣメールで送りますので必要分をプリントし、入場の際に一人一枚受付へ提出してください。

　また、それぞれの参加者数を以下の通りお知らせください。

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

○○山岳会
午前：①　○人　②　○人
午後：○人
※午前の人数は席に限りがあるのでなるべく正確な人数をお願いします。
　午後の人数は大凡で大丈夫です。

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

　9 月の実行委員会会議時に中間集計、10 月の実行委員会会議時に最終集計を行いますので、それまでに各会実行委員へご連絡お願いいたします。

　その他、問い合わせなどは、各会の 60 周年実行委員までお願いします。

担当：60 周年実行委員会(田辺／山城／らくなん)

第20回実行委員会(京都労山60周年記念事業)議事録

記録　平尾

2026年7月15日(水)　19時30分～20時30分　　(リモート専用)

参加者：青山（やましな)、金山（福知山)、宮内（田辺)、奥田（らくなん)、沖（山城)、近藤（乙訓)、岩根（左京)、野原（WAO）高野（伏見)、西村、平尾（連盟）/11名

＜報告・検討事項＞

① お知らせ第４号　京都労山８月号に掲載。午後の講演会の開始を15分早めた

② 教文センターの見積書（ホールの専門スタッフ２名の人件費含む）
さらに看板代、講演会の動画費用を追加する

③ 交流会　午前の分科会　9:15分開場、9:30開始。スタッフは8時台に集合する。

・各山岳会活動報告会　101号室予定（キャパ60名）
田辺、山城、らくなん、洛中、西山、福知山（北部をまとめて）　6労山予定
各15分程度発表+フリートークとする。
司会者　洛中予　要検討　　受付2名　三労山で担当　記録　記念誌担当2名

・連盟委員会　活動報告会　301号室予定（キャパ60名）
自然保護、ハイキング、教育、遭難対策、クライミング各委員会
司会者　大江（常任理事会）　受付2名　三労山で担当　記録　記念誌担当2名

午後記念講演会　13:00開場、13:20開始、17:00解散
挨拶　中村会長、坪山理事長、締め青山実行委員長
1時半から3時半　安藤真由子先生講演と質疑応答（講師応対　らくなん　高岸さん）
3時半から5時　飯田さん講演と質疑応答
司会者　花折さんにお願いする　（らくなん　永井さんは断り）
受付4名　三労山で担当　記録（記念誌担当4名）+山遊会　辻さんに依頼予（写真）

※それぞれに設営の指示や全体を見る責任者（担当）をおく。9月、参加者の中間集約後、実行委員の分担とあわせ決める。午前・午後の司会は次回8月実行委員会で、固めたい
昼食は、101号・301号室でとる、ホールでの飲食は禁止（9月号案内に掲載予）

④　記念誌発行の件

・各会の活動報告は、9月中旬を目途に各会の実行委員が責任を持って西村さんに提出
・記念誌は、50周年の半分100頁くらい、3月7日の総会で渡す予定。渡し方は要検討
・テーマ「京都17労山の交流と世代間での経験・登山技術の継承」を意識した編集に
・出来るだけ読んで楽しいものにしたい
・10年間の「京都労山」からネタを探している、取り上げたいものを、編集委員に申出る
京都労山を見て気づいた点：自然災害が多かった（台風18号、能登半島地震)、コロナによる大きな影響、交流会の記録を纏めたい、レジェントに聞く「インタビュー」シリーズ、京都労山表紙シリーズ、西院から花園への事務所引越、わかもの応援基金。
・各委員会の報告原稿のフォーマットはラインGで検討し常任理事会に報告する

次回は、8月19日（水）19時30分～

京都府連盟登山道倒木整備 ―大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

４月から新島襄のお墓の南の方を整備していします。行きかう登山者が多く整備のやり甲斐があります。登山者に迷惑がかからないように整備します。ここは９月で６回目になりますがまだまだ切る木は一杯あります。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には１本１本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日： ９月 19 日 10 月 3 日（いづれも土曜日）
本降りは中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か当日の朝早く判断して中止メールを送ります。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：南禅寺タクシー乗り場横の山門　８時 30 分には出発します

★参加申込先：連盟登山道整備担当　やましな山の会 青山郁夫
080-3797-4392　携帯メール　2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp
留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カッパ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品　ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）
必要に応じて簡易ハーネス、カラビナスルー装備、自己確保装備

★共同装備：9㎜.8㎜ ロープ、ビニール紐、カラビナ、ダック、サムスプリント

★その他

・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
・木が 1/3 切れたら声を掛けること。1/3 でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるかを常に予想して退避方法を考えておくこと。
・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
・コロナはまだ続いています。インフルエンザも心配です。
本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来（今もあるのかな？）に行って下さい。



京都府連盟 ～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2026 年 7 月 11 日（晴れ）
やましな：郁夫、久子　右京：西村澄子　村上明彦　荒木賢子　市岡晴美　河合恵子
栗山元伸　河本緑　田辺：宮内毅　滋賀山友会：宮内眞子
何と今日は、4 労山、11 人参加。凄い！

南禅寺山門前8:30--新島襄のお墓経由--9:05 新島襄のお墓の東の谷の奥整備14:04--14:28南禅寺山門前

前回はいつものメンバーと右京の近藤進さんが参加して下さり 9 人の参加だったが、今回は右京の栗山元伸、河本緑さん、そして、久々に滋賀山友会の宮内眞子さんが参加して下さり何と 11 人もの参加でした。

荒木賢子
今回は、初めて参加の方もいらっしゃいましたが、人海戦術でとても捗りました。来月もまだまだ暑さは続くようですが、頑張ります。

栗山元伸
本日の倒木撤去作業に参加の皆様、お疲れ様でした。
初めての作業で多少戸惑いもありましたが、やり始めると時間を忘れてしまいました。
お世話をいただいている方のご苦労に頭が下がる思いです。今後も協力させていただけるよう心がけます。

村上感想
大木を切って運ぶという大変な作業でしたが大人数ではかどりました。早めの終了で熱中症にもならず良かったです！

河本緑
カラビナやロープを使い、掛け声とともに大木を移動させる様子は幼少の頃の遊びを思い出しとても楽しかったです。

西村澄子
暑い日でしたが、参加者が 11 名も居られて助かりました。人数が多いと、とっても助かりますねぇ！

宮内毅

女性 7 人男性 4 人で倒木整備を行い作業が順調に進んだため、14 時に終了できました。
今後も 14 時に作業終了をお願いします。（青山：14 時終了は勘弁して下さ～い）

宮内眞子

山科の安祥寺付近の整備に参加して２回目の参加になります。
懐かしい「整備・整理の美学」（寸法、積み方等 ）を思い出しました。
11 人も集まれば、力仕事なんのその頑張りました。虫刺されに悩まされました。

青山久子

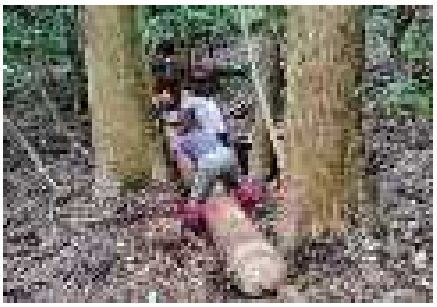
暑い中でしたが、作業は木陰。直径 30 ㎝超えの大木も女性 7 人で悪戦苦闘の末、切ることができました。斜面の直径 40 ㎝超えの大木は 11 人で掛け声とシステム駆使して、下に降ろすことができ、一面が広場になり、すっきりとしました。 お疲れ様でした。

青山郁夫

何と 11 人の参加。お陰さまで予想以上に作業がはかどりました。少しづつだけど着実に登山道周辺が綺麗になってゆきます。
久々の参加の滋賀の宮内さん、初参加の右京の栗山さん、河本さん、参加、ありがとうございました。また、来て下さいね。みんなで一緒に汗を流して山を綺麗にしましょう。



前回の続きでみんなで木を切る。結構、太く木が地面に接しているので切断するのが大変。



左の木の根元の方。場所が悪くて切りにくい。人の大きさと比べても木の太さが分かる。



この木も前回の続き。とにかく太い。ノコギリの歯が届かない。木の左右から切る。



切った木も運ぶのも大変。1/5 システムを使い、みんなでロープを引っ張り少しずつ移動させる。

登頂順二百名山登頂記録 67　　乙訓山の会 小川　繁

№137　榛名山 掃部ヶ岳 1449m　　2010.07.27(火)

7.25(日)～29(木　北関東単独山行

25(日)朝から北関東山行に出発。都合で日程がずれたので妙義山･荒船山は別に行く事にして先ずは四阿山へ。菅平牧場登山口から花の百名山の根子岳も登る心算だったが途中で出会った人に聞くと「花はまあまあ」の返事で余り期待出来そうにないので山頂往復し高峰高原ビジターセンターP で車中泊。

26(月)浅間山へ。稜線歩きの表コースは眺めが良く花も多い。浅間山を正面に見るドーミの頭迄歩くだけでも十分に楽しめる。山頂は噴煙が上がり登山規制で登れず前掛山で引き返す。下山後浅間隠山へ登る途中激しい雷雨に会い命からがら下山し榛名山麓･国民宿舎吾妻荘に向かう。雨に濡れて冷えた体を大きな湯船に浸かって温め地産地消がモットーのコース料理を頂く。

27(火) 榛名山最高峰掃部ヶ岳　↑36(1h)/↓33(1h)　計 1h23(2h)



4:54 起床。ザックは乾いた。昨日痛めた踵の痛みは和らいで腫れもかなり治まり何とか山行を続けられそうだ。朝食の前に掃部ヶ岳に登る。雨上がりの空に日の出・朝焼けが美しい。

5:53 吾妻荘発。宿の横が登山口になっている。榛名山は榛名湖外輪山の総称で相馬山 1441m・磨墨(するす)峠・松之沢峠・ツツジ峠・七曲峠・天目山 1303m・氷室山・天神峠・鬢櫛山 1350m・烏帽子ヶ岳 1363m・榛名富士 1390m 等に囲まれている。ネームバリューのある榛名富士に登る事も考えたがやはり最高峰の掃部(かもん)ヶ岳に登る事にした。

6:06 分岐から硯岩 1251m に登る。残念乍ら余りにも大きくて岩の大きさを実感出来ない。どこか麓の方から見上げられたら…

6:13 分岐へ戻り掃部ヶ岳に向かう。丸太や板で階段が整備されている。

6:39 掃部ヶ岳 1449m 山頂。正面に榛名湖と榛名富士を望み、右に氷室山～相馬山へと山々が連なる。今回は踵を痛めたので掃部ヶ岳だけだったが、いつか榛名富士にも登りたいものだ。

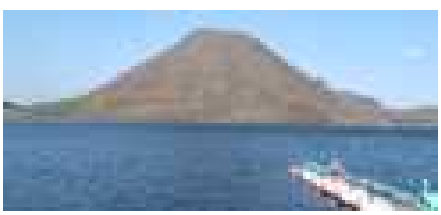
6:45～下山開始。途中「ピーッ」と言う鹿の鳴き声がして見渡したが見つからず。

7:18 吾妻荘着。先ずは風呂に入って汗を流す。５階の展望露天風呂からの眺めが素晴らしい。

7:30～朝食。吹奏楽部の合宿で 40 人程の団体。朝食も中々のメニューでご飯・味噌汁はお代わり自由。

8:00 過ぎに弁当を貰い会計(労山会員割引で－500 円)を済ませて出発。昨日雷雨で断念した浅間隠山に向かう。

榛名富士には 2025 年５月１日に念願の登頂を果たした。４月 28 日(月)～５月２日(金)で関東の３百名山・花の百名山山行で諏訪山・三毳山・石裂山・鳴神山・赤城山地蔵岳に登った帰りに登った。花の百名山として山ツツジが咲くと言うので行ったが花の時期にはまだ早く前回登った掃部ヶ岳等の山々を眺めて楽しみ、麓の芝桜公園に立ち寄り春を満喫した。



9 月号の案内

表紙の絵　　屋根谷　克己　さん　（らくなん山の会）



水仙

家の庭にところ狭しと生えています。

＊京都労山は 10 年前、創立 50 周年を迎えるに当たって、総力をかたむけて会員拡大をすすめる運動に取り組んだ結果 1000 人を突破する時期がありました。
意識的に会員の拡大に取り組み、様々な創意工夫もされました。一般新聞に登山教室や初心者のための山登り教室の案内を載せ、駐車場や日帰り温泉の掲示板にポスターを貼ったり、喫茶店や公共施設にチラシを置く、または登山口や山頂で登山者にビラを渡すなどしていました。
時代は変わり、今ではホームページの模様替えをして写真や山行記録・山行案内など内容の充実を図っています。
また会独自でリーフや名詞を作って登山者に渡す。印刷した QR コードからホームページを閲覧出来るようにする、など様々な工夫がされています。
また、YMAP などの登山アプリを活用して会員を増やす活動がされていますが、最近は、各会で独自のインスタグラムの活用が進んでいます。
なかにはプロ級の力の入った作品まで出てくるようになりました。
今年 11 月に迎える京都労山創立 60 周年記念行事に向けて弾みになればと思います。

＜お知らせ＞

表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】　京都府勤労者山岳連盟　機関誌委員会　高野　寛

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　hirossan-1954@nifty.com

＊原稿サイズ　B５版　１行約 36 字　１頁約 36 行

＊字体　ＭＳ明朝体　１１Ｐ　余白上、左、右各２０㎜ 下２０㎜

２０２６年　京都府連盟　月間予定表

９月　（長月・SEP）		
1	火	事務局長会議
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	自然保護委員会
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	常任理事会
15	火	教育委員会
16	水	
17	木	冬山勉強会 机上:ガイダンス・気象
18	金	やまびこ利用日
19	土	大文字山登山道整備
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	遭難対策部 ハイキング委員会　気象勉強会
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	常任理事会　京都労山印刷
29	火	
30	水	

１０月　（神無月・OCT）		
1	木	
2	金	
3	土	冬山勉強会 実技:体力トレイ 比良山 大文字山登山道整備
4	日	初級登山学校 机上:開校式、他
5	月	自然保護委員会
6	火	事務局長会議
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	冬山勉強会 テント伯 木曽駒ケ岳
12	月	冬山勉強会 テント伯 木曽駒ケ岳 スポーツの日
13	火	常任理事会
14	水	
15	木	
16	金	やまびこ利用日
17	土	
18	日	初級登山学校 j実技:ボッカ、比良山
19	月	京都労山印刷　遭難対策部 ハイキング委員会
20	火	教育委員会
21	水	
22	木	冬山勉強会 机上:防寒・低体温症
23	金	
24	土	
25	日	初級登山学校 机上:読図、歩行技術
26	月	常任理事会
27	火	気象勉強会
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	～11/1 初級登山学校 実技:テント伯 ～11/1 冬山勉強会 テント伯 空木岳